

# F-REIの最近の動き (令和8年2月)

福島国際研究教育機構

Fukushima Institute for Research, Education and Innovation (F-REI)

F-REIのWebサイトに掲載されている「F-REIの最近の動き（令和7年4月～）」から令和8年2月分を浪江町役場で抜粋しております。詳細はF-REIのWebサイトをご覧ください。

(<http://www.f-rei.go.jp/>)

# 令和8年2月3日（火） 第6回アドバイザリーボードを開催

2月3日、今年度2回目となる第6回アドバイザリーボードを開催しました。

当日は、アドバイザー4名と山崎理事長をはじめ、役員、執行役、広域連携監、分野長、副分野長等が出席しました。

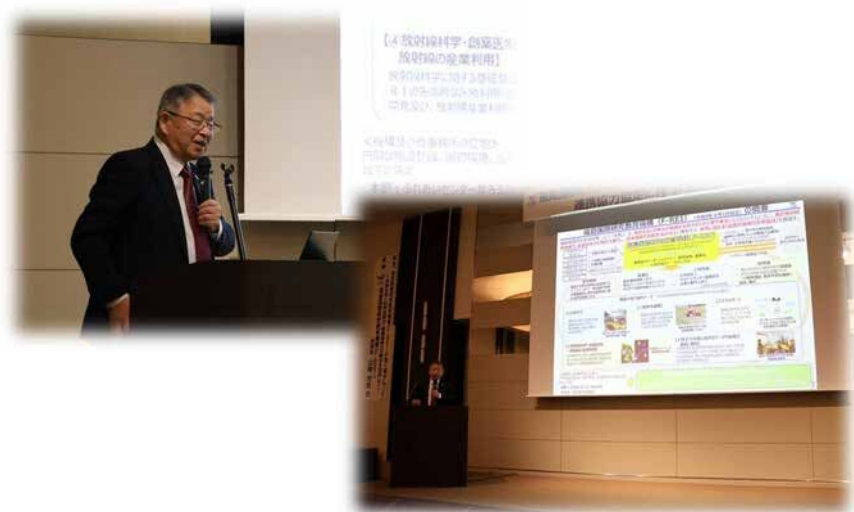
アドバイザリーボードでは、はじめにF-REIの最近の動向について説明し、続いて専門人材の育成について、原山アドバイザーからご講演いただきました。その後、F-REIにおける専門人材に関する取組等を説明し、アドバイザーの皆様から有意義なご助言をいただきました。また、アドバイザリーボードの前には、アドバイザーの皆様にご視察いただき、地域に対する理解を深めていただきました。



# 令和8年2月9日（月） あぶくま信用金庫と連携協力協定を締結

2月9日、あぶくま信用金庫とF-REIは連携協力協定を締結しました。今後、この協定に基づいて、互恵的な連携協力を進めていきます。

また当日は、山崎理事長より、「福島国際研究教育機構（F-REI）の取組について～未来を拓く科学技術力・産業競争力の拠点を目指して～」と題し、地元企業の経営者の皆さまに向けて、記念講演を行いました。



# 令和8年2月9日（月） いわきものづくり塾® 成果発表会 & 交流セッションを開催

2月9日、「いわきものづくり塾® 成果発表会 & 交流セッション」がいわき市で開催されました。本プログラムは、福島県といわき産学官ネットワーク協会の主催により、昨年10月から実施されてきたものです。F-REIの研究者※による講義を通じて最先端技術の応用展望を学び、その知見を踏まえて事業構想を練り上げるワークショップとして展開しました。

今回の成果発表会では、参加者の皆さまがこれまでの活動を通じて、それぞれの視点から検討を重ねてきた事業構想について発表が行われました。発表終了後には、F-REIの研究者と地域の皆さまを交えた交流セッションも実施し、分野や立場を越えた活発な意見交換が行われました。参加者同士の新たなつながりも生まれ、今後の連携が期待される機会となりました。

※各講義では、エネルギー分野の矢部彰分野長、ロボット分野「燃料電池システム研究ユニット」の飯山明裕ユニットリーダー及び柳澤政成ユニットサブリーダー、原子力災害に関するデータや知見の集積・発信分野「大規模災害レジリエンス研究ユニット」の関谷直也ユニットリーダーが講師を務めました。



# 令和8年2月10日（火） エフともカフェ（大熊町）を開催

2月10日、大熊町の大阪大学福島拠点にて「エフともカフェ」を開催しました。今回は、大阪大学福島拠点の学生の皆さまと、東北大学 苅谷智大 特任准教授をゲストにお迎えし、「大阪大×東北大×学生で語る これからの浜通り」をテーマに、参加者の皆さまとともに語り合いました。

当日は、大阪大学福島拠点の学生による科学班・観光班・キウイ班の3班から活動発表が行われたほか、東北大学の苅谷准教授からはFUTAHOMEの取組についてご紹介いただきました。

イベント後半には、「DJ Night」と題した交流会を実施し、DJ MASHUによる音楽のもと、リラックスした雰囲気の中で会話が弾みました。また、発表を行った学生によるブース出展も行われ、参加者が説明に耳を傾けながら対話するなど、会場各所で活発なやり取りが見られました。



# 令和8年2月13日（金） 出前授業（原町高等学校）を開催

2月13日、原町高等学校の1、2年生の希望者8名を対象として、出前授業を開催しました。

F-REIの大和田執行役が講師を務め、「F-REIが切り開く未来の医療」の演題のもと、今後の医療の変化について紹介し、医療現場において多職種が連携するチーム医療の重要性について伝えました。また、F-REIの研究として、災害現場や高放射線環境で活躍するロボット技術を紹介し、将来の遠隔手術や精密医療にもつながる可能性について説明されました。

参加した学生からは、研究の進め方などについての質問も出るなど、医療や研究の世界をより身近に感じる機会となった様子でした。



# 令和8年2月16日（月）、17日（火）、19日（木） プログラミング教育（なみえ創成小学校）を開催

2月16日、17日、19日の3日間に渡り、なみえ創成小学校にて、プログラミング教育を実施しました。本取組は、「エフとも」の活動の一環として、浪江町教育委員会からご相談を受けて実現しました。

本プログラムは、高学年（5、6年生）、中学年（3、4年生）、低学年（1、2年生）にグループ分けし、授業時間を担当しました。講師は、F-REI放射線科学・創薬医療、放射線の産業利用分野「放射線基盤技術開発ユニット」の武田伸一郎主任研究員が務め、大阪大学の能町正治特任教授、吉田裕介特任助教にもご協力いただき、各学年に合わせたプログラミング教育を行いました。

児童の皆さんは終始意欲的に取り組み、楽しみながらプログラミングの基礎を学ぶ様子が見られました。



# 令和8年2月18日（水） 「農林水産分野の先端技術展開事業」の研究成果報告会を開催

2月18日、「農林水産分野の先端技術展開事業」の研究成果報告会を郡山市で開催しました。

本報告会では、これまでの現地実証で得られた研究成果や社会実装の事例を広く共有し、今後の福島農林水産業の創造的復興に向けて、さらなる社会実装の促進につなげることを目的として、令和7年度で終了する本事業の取組と成果について、ポスターセッション形式で報告とディスカッションを実施しました。研究者と県内外で農林水産業に取り組む企業や関係者の皆さまとの活発な意見交換が行われました。

参加者からは今後の実用化に向けた具体的な質問や提案も寄せられ、本事業の成果を次の展開へとつなげる有意義な機会となりました。



# 令和8年2月18日（水） 第5回浜通り復興リビングラボシンポジウムに参加

2月18日、復興庁が主催する第5回「浜通り復興リビングラボシンポジウム」がCREVAおおくま（大熊町）で開催されました。

本シンポジウムでは、実証事業の成果報告とともに、産官学の多様な観点からリビングラボに参画する主体の拡大や連携強化に向けて議論するセッションが行われました。セッションにはパネリストとしてF-REIから山崎理事長が登壇し、F-REI本施設の整備状況や浜通りに貢献するF-REIの研究、エフともについてお話ししました。

浜通り地域等の復興・再生を担う自治体や民間企業、大学等の関係者との連携強化に向けた交流を深める機会となりました。



# 令和8年2月27日（金） 出前授業（安積中学校）を開催

2月27日、安積中学校の1年生約60名を対象として、出前授業を開催しました。

F-REIの村田広域連携監が講師を務め、「創造的復興への挑戦-福島国際研究教育機構（F-REI）について-」の演題のもと、東日本大震災と原発事故発生時の状況、その後の復興について説明をしたうえで、復興におけるF-REIの役割とこれからのビジョン、研究内容等の紹介を行いました。その後、「住みたい・働きたいと思われる福島をつくるには」というテーマで、「今の福島の実状や課題」、「課題を解決するために必要な研究は何か」を考えるグループワークを行いました。

「復興」について学ぶ機会が多い生徒たちにとっても、新たな視点で学ぶ機会、これまでに学んだことを再確認する機会になった様子でした。





**F-REI**

福島国際研究教育機構